

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	日本語3 (Japanese 3)		
ナンバリングコード	A10707 B10807	大分類 / 難易度 科目分野	教養基礎(教育)科目 / 基礎レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	1年 / 1年後期・2年前期
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	A023252	クラス名	-
担当教員名	古川 俊雄		
履修上の注意、履修条件	<ul style="list-style-type: none"> 「日本語3」は留学生対象科目です。履修する際は「日本語4」と合わせて履修登録して下さい。なお、「日本語3」は日本語能力に応じて単位認定できます(「成績評価の補足」※参照。ただし、原則として授業は受講すること)。 「日本語1」「日本語2」の単位が取得できていない学生は受講できません。 後期開講「日本語3」は能力別に3クラス、前期開講「日本語3」は1クラス編成で行います。 		
教科書	・『N2読解スピードマスター』(Jリサーチ出版)		
参考文献及び指定図書	<ul style="list-style-type: none"> ・『N2聴解スピードマスター』(Jリサーチ出版) ・『ドリル&ドリル日本語能力試験N2聴解・読解』(UNICOM Inc.) 		
関連科目	日本語1、日本語2、日本語4		

○基本情報							
授業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・講義を聞いて理解できるようになるとともに、学部での諸活動が日本語を用いて行えるようになるため、読む力と聴く力の両面から総合的なスキルアップを図る。 ・課題の文章を読んだり聞いたりして、内容を理解するだけでなく、他の表現で言い換えたり、要約したり、感想や意見を述べたりできる力を身につける。 						
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・クォーター制で授業は週2回。 ・毎回、読解と聴解の問題練習を行い、日常生活や講義理解に必要な語彙・文型・表現を理解し、運用する力の増強を図る。 ・日本語によるコミュニケーション力を身につけるため、身近なテーマや話題についての発表や質疑応答の練習を行う。 ・必要に応じて、漢字・語彙練習や実践的な日常会話・ビジネス日本語の基礎的運用練習等も実施する。 						
授業の運営方法	<table border="1"> <tr> <td>(1) 授業の形式</td> <td>「演習形式」</td> </tr> <tr> <td>(2) 複数担当の場合の方式</td> <td>「複数クラス方式」</td> </tr> <tr> <td>(3) アクティブ・ラーニング</td> <td>「プレゼンテーション」</td> </tr> </table>	(1) 授業の形式	「演習形式」	(2) 複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」	(3) アクティブ・ラーニング	「プレゼンテーション」
(1) 授業の形式	「演習形式」						
(2) 複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」						
(3) アクティブ・ラーニング	「プレゼンテーション」						
地域志向科目	該当しない						
実務経験のある教員による授業科目	該当しない						

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間試験)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	自分の日本語力を向上させようという意識を持ち、積極的に学習に取り組むことができる。また、日本語を積極的に使ってコミュニケーションすることができる。		10点	
【知識・理解】	日常のコミュニケーションで使用される語彙や表現がだいたい理解できる。また、新聞記事などを読んで、だいたいの内容を理解することができる。	40点		
【技能・表現・コミュニケーション】	日常的な会話のだいたいの内容が理解でき、必要に応じて、説明したり、相手に質問や依頼をしたりすることができる。	20点	10点	10点
【思考・判断・創造】	身近な話題や専門に関する話題について、話の概要を理解し、自分の意見や感想とその根拠・理由を述べるができる。	10点		

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
<ul style="list-style-type: none"> ・成績については、次の3つを評価の対象とします。 <ul style="list-style-type: none"> ● 期末試験の結果 ● 課題の提出 ● 授業への取り組み姿勢 <p>※<日本語能力試験(JLPT)等合格者に対する単位認定> 下記の基準のいずれかを満たす場合は、申し出るにより「日本語3」及び「日本語4」の単位認定が受けられます。 ● 基準1 日本語能力試験(JLPT)のN2またはN1に合格 → N2合格はB、N1合格はA ● 基準2 J.TESTのA-Cレベルを受験し、1000点中600点以上の得点 → 600点～699点はB、700点以上はA なお、期末試験を受けず、単位認定のみの場合は、S認定を受けられません。</p>

○その他
<p><履修および単位認定等について> ・留学生は全員、「日本語1」から順に「日本語2」「日本語3」と受講してください。編入学の場合については個別に判断します。 ・「日本語1」「日本語2」のどちらとも単位取得できていない場合、「日本語3」「日本語4」を履修することはできません。注意してください。</p> <p><欠席・遅刻などについて> ・6回以上欠席した場合は評価を受けられません。 ・20分以上の遅刻や理由のない途中退出、授業中の指示や注意に従わず、3回以上注意を受けた場合は退出させた上で欠席とします。</p>

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	日本語3 (Japanese 3) 古川 俊雄	授業コード	A023252
学修内容				
1. 日本語能力チェック テストをして現在の日本語力をチェックします。				
予習	教科書 pp. 10~27	読解力アップのポイントと練習		約1時間
復習	教科書 pp. 28~32	テーマ別キーワード		約1時間
2. 読解・聴解練習 読解課題 内容理解(短文) 聴解課題 課題理解 ※語彙・漢字課題				
予習	教科書 pp. 34~37			約1時間
復習	オンライン課題ほか			約1時間
3. 読解・聴解練習 読解課題 内容理解(短文) 聴解課題 課題理解 ※語彙・漢字課題				
予習	教科書 pp. 38~41			約1時間
復習	オンライン課題ほか			約1時間
4. 読解・聴解練習 読解課題 内容理解(短文) 聴解課題 課題理解 ※語彙・漢字課題				
予習	教科書 pp. 42~45			約1時間
復習	オンライン課題ほか			約1時間
5. 読解・聴解練習 読解課題 内容理解(中文) 聴解課題 課題理解 ※語彙・漢字課題				
予習	教科書 pp. 46~49			約1時間
復習	オンライン課題ほか			約1時間
6. 読解・聴解練習 読解課題 内容理解(中文) 聴解課題 ポイント理解 ※語彙・漢字課題				
予習	教科書 pp. 50~53			約1時間
復習	オンライン課題ほか			約1時間
7. 読解・聴解練習 読解課題 内容理解(中文) 聴解課題 ポイント理解 ※語彙・漢字課題				
予習	教科書 pp. 54~57			約1時間
復習	オンライン課題ほか			約1時間
8. 読解・聴解練習 読解課題 内容理解(中文) 聴解課題 ポイント理解 ※語彙・漢字課題				
予習	教科書 pp. 58~61			約1時間
復習	オンライン課題ほか			約1時間

○授業計画	科目名 担当教員	日本語3 (Japanese 3) 古川 俊雄	授業コード	A023252
学修内容				
9. 確認テスト ここまでの学習内容について確認するテストを行います。				
予習	これまでの学習内容について復習			約2時間
復習	オンライン課題ほか			約1時間
10. 読解・聴解練習 読解課題 統合理解 聴解課題 概要理解 ※語彙・漢字課題				
予習	教科書 pp. 66~69			約1時間
復習	オンライン課題ほか			約1時間
11. 読解・聴解練習 読解課題 統合理解 聴解課題 概要理解 ※語彙・漢字課題				
予習	教科書 pp. 70~71			約1時間
復習	オンライン課題ほか			約1時間
12. 読解・聴解練習 読解課題 主張理解(長文) 聴解課題 即時応答 ※語彙・漢字課題				
予習	教科書 pp. 72~75			約1時間
復習	オンライン課題ほか			約1時間
13. 読解・聴解練習 読解課題 主張理解(長文) 聴解課題 即時応答 ※語彙・漢字課題				
予習	教科書 pp. 76~79			約1時間
復習	オンライン課題ほか			約1時間
14. 読解・聴解練習 読解課題 情報検索 聴解課題 統合理解 ※語彙・漢字課題				
予習	教科書 pp. 80~85			約1時間
復習	これまでの学習内容についての復習			約2時間
15. 期末試験1 筆記試験(全クラス共通問題)				
予習	これまでの学習内容について復習			約2時間
復習	これまでの学習内容についての復習			約2時間
16. 期末試験2 口頭試験または聴解試験				
予習	これまでの学習内容について復習			約2時間
復習				